

+ 4 7 【あんまつがっちゃ】

おばけの名前は、ほとんど懐爺に教えてもらったものばかりですが、たったひとつ、ぼくが名付けたおばけがいました。

それが【あんまつがっちゃ】でした。

音がします。

暗闇で幽かな音がします。

その音は、あんまつがっちゃ、という音をたてているわけではありません。

ひたすら不気味な、地獄もしくは宇宙の果てからやってくる音だとかんじました。

耳鳴りだったのでしょうか、それとも幻聴（げんちょう）だったのでしょうか。

いえ、ぼくにはおばけの音、音のおばけとしか、どうしてもおもわれませんでした。

その音をきいたなら、だれでもそうかんじるにちがいありません。

擬音語（ぎおんご）や形容（けいよう）などでは、決してあらわせない音。

その音は、ぼくが暗闇にいると必ずきこえます。

そうしてぼくが明るいところにいると、まったくきこえないのです。

その音は、ぼくが三十歳になったときに、きこえなくなりました。

どうして【あんまつがっちゃ】という名前を付けたのか、じつはぼくにもよくわかりません。